

県水道設計業協会総会

新会長に四元氏選任

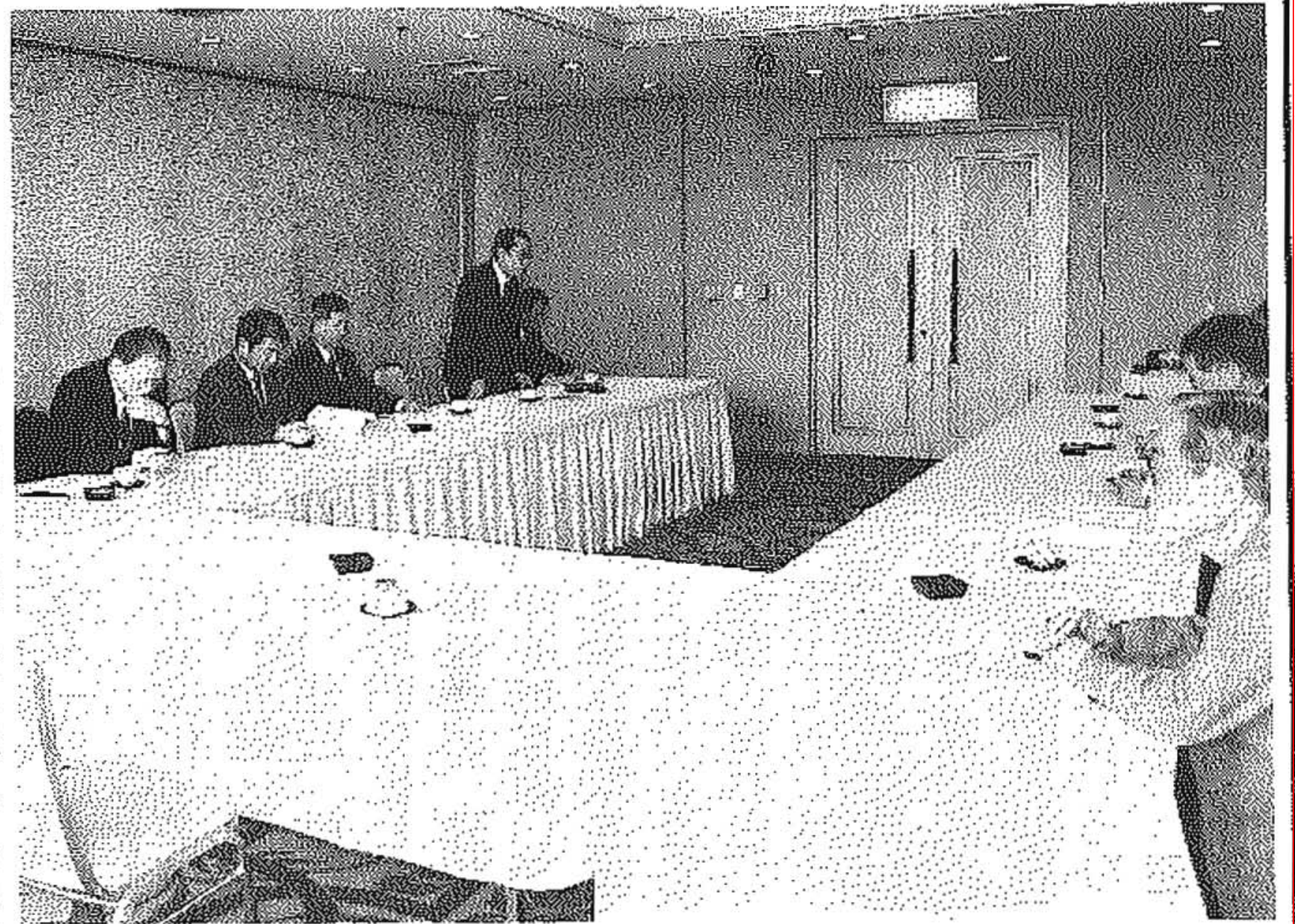


四元久会長

県水道設計業協会(四元久会長代行)は4日、鹿児島市の鹿児島東急ホテルで、16年度「通常総会」を開き、16年度収支決算報告や17年度事業計画案など執行部原案通り承認した。また、同時に執行部改選が行われ、黒岩郁夫前会長の死去後、会長代行を務めてきた四元久氏(水興設計)を新会長に選任した。

総会では初めに、議事進行役を務める四元会長代行が「昨年は県内外において台風や地震など多くの災害が発生しました。加えて7月28日には、黒岩会長がお亡くなりになった。協会発展のために頑張るなど、残念な年でした。しかし、会員の皆さまの協力のおかげで年間事業を遂行することができました。今年も協会員全員が力を合わせ一緒に頑張る」と抱負を述べた。

総会後は新年会に移り、互いに杯を交わしながら協会の結束や親交を深めた。今年も協会員全員が力を合わせ一緒に頑張る」と抱負を述べた。



役員改選などが行われた通常総会  
＝鹿児島市の鹿児島東急ホテルで

つていきましよう」と挨拶した。続いて、第1号議案の16年度事業経過報告から第4号議案の17年度収入支出予算案まで審議が行われ、すべて原案通り可決承認。役員改選では、会員から推薦を受けた四元氏が会長に、副会長には九州水道コンサルタントの大徳幸氏、監事に九州水道コンサルタントの濱田紘氏がそれぞれ就任した。



真剣に受講する会員ら＝鹿児島市の  
かごしま県民交流センターで

建築士事務所業務研修会

業務上の責任を詳説

事務所協

県建築士事務所協会(大原達也会長)は4日、鹿児島市のかごしま県民交流センターで「建築士事務所のための業務研修会」を開き、会員約100人が参加、設計及び工事監理者に係る業務上の事務所責任について新たに学んだ。

研修会では冒頭、大原会長が「近年、設計や施工においての事故が多数見られるようになってい

指宿小へチップ材無償提供

剪定枝の再利用PR

ワークショップ協議会

その責任の在り方などについて見つめ直していた「だいたい」などと挨拶。引き続き、日事連サーブスの中川孝昭専務が「保険事故に見る建築士事務所リスクマネジメント」と題して講演。この中で、業務を進める上で必要なこととして、打ち合わせ記録簿の記入やメモを取ることを、どんな小さな仕事でも必ず契約書を交わすこと、信頼できるパートナーを選ぶことなどが大切であると解説した。

また、責任の所在を明確にする必要性などについて触れ、「直接工事に関与する責任者として、新潟県で発生した朱鷺メッセ連絡デッキ落下事故を参考に、設計・工事監理者などの責任問題について解説した。

作業に先立ち、新谷緑化(株)の竹下和成工事部工事課主任が「今回、準備したチップ材は、皆さんが大切にしている栗の木を雑草から守るためのものです。心を込めて、優しくまいてください」と挨拶した。

続いて、児童らは担任の先生の指導を受けながら、約2俵ほど準備されたチップ材を栗の木の根元に丁寧にまき始めた。初めて触れるチップ材を、珍しそうに手で感触を確かめながら、楽しげに散布していた。



児童らに丁寧に指導する竹下主任  
＝指宿市の指宿小学校で

た。

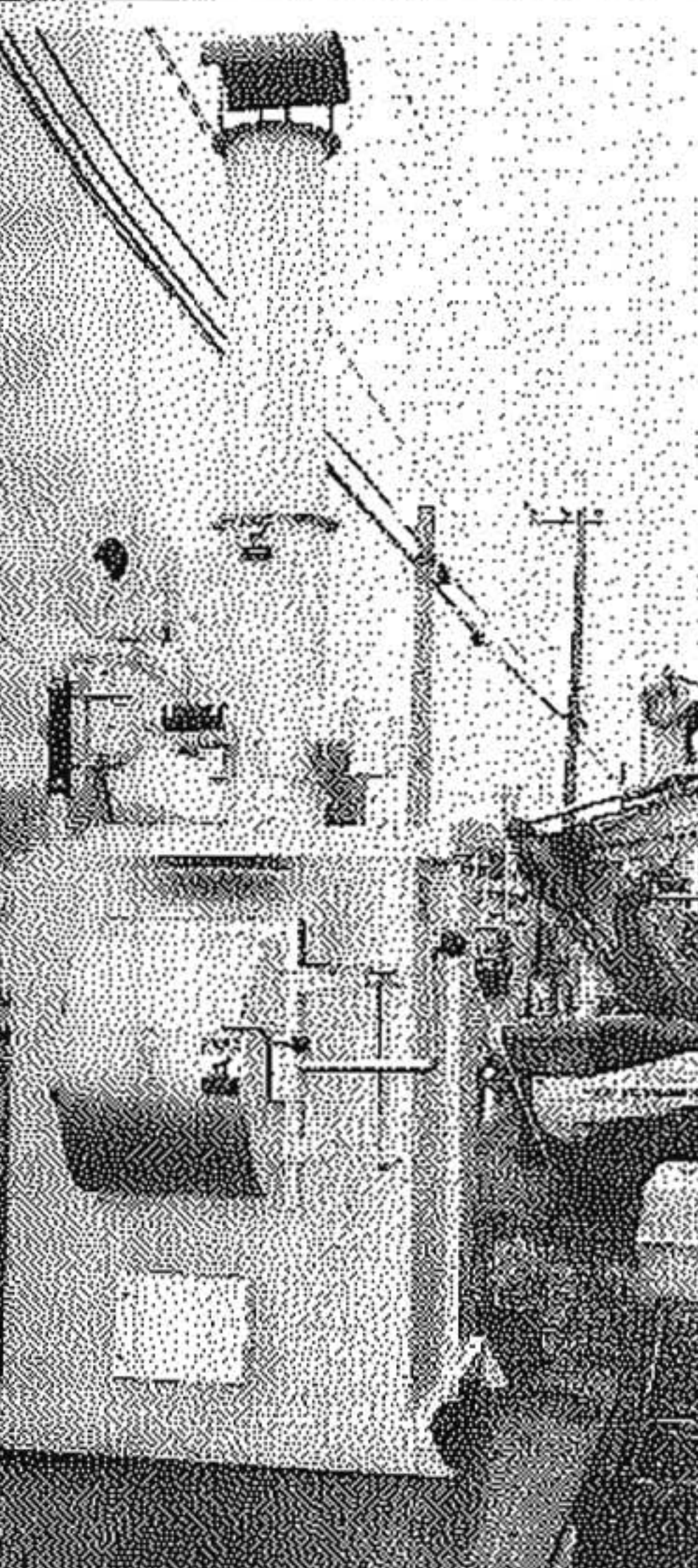
話題の  
商品・工法

完全燃焼に  
廃プラ用焼却炉MDP

旋回燃焼で完全燃焼

太田機工

太田機工(株)(上山武俊社長、本社・薩摩川内市)は、クリーン焼却炉(焼却炉・フィルター、ゴムホース、油ウェス、梱包材、紙、木等の焼却専用タイプ。焼却能力別に7機種ある。



自動温度制御とバーナー(助燃装置)で燃焼ガス温度を常に800℃に保ち、エアノズルで炉内にバランスよく空気を供給することで旋回燃焼を起し、完全燃焼させる。またプロアーとWカットに関する法規制すべてに



浄化槽維持管理技術を学んだ研修会  
＝鹿児島市のマリンパレスかごしまで

浄化槽維持管理技術研修会

維持管理の知識深める

環境整備組

県環境整備事業協同組合(鳥越澄夫理事長)は4日、鹿児島市のマリンパレスかごしまで第13回浄化槽維持管理技術研修会を開いた。出席した約230人の関係者は、適正な浄化槽維持管理の知識や技術について理解を深めた。

確認することが大切。今後、お客さまの信頼を得ていくためにも高い知識と技術を持つ業務に取り組んでほしい」と挨拶。基調講演では、財団法人環境整備教育センター調査研究部の渡辺孝雄主幹が、浄化槽についての常識や誤解されやすい点などについて解説。「人権とは、

当日は、各浄化槽メーカーによる商品説明のほか、各設置ブースで参加